南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート □ 新規 ☑ 継続 _ ___ (事業 委託 補助用)

I 基本	事項	`			,		整理	番号	584	
事業名 電動式生ごみ処理機補助金			<u></u>	予算	会計	一般会				
ず未口	电影	別以土との処理機構の並			款	衛生費	遺・4 款			
担当部課名	市民	生活部 生活環境課	科	項	清掃費	1・2項				
電話	0799	9 - 43 - 5024	目	目	ごみ処	理費·2	目			
事光八粘		義務的(法定)事務	法的根拠 南あわじ市ごみ減量化機器設置補助						設置補助金交	
事業分類	✓ .	任意的(自治)事務	(法令、条例、要綱等) │ 付要綱							
		まちづくりの柱	安らぎづ(り_	元気あ	ふれ_1	主んで愉	央適なま	ちづく)	
南あわじ市総	合計画 まちづくりの目標		子どもを産みたい_育てたいまち【子育て】							
施策体系	Ŕ	施策目標	ゴミのない清潔感あふれる安らぎの住環境をつくる							
該当する	施策的事業		業系	务委託		負担	金補助			

Ⅱ Plan (計画、事業内容、事業背景)

		対象(誰を・どのような状況の人に)
		□ 市内に居住する住民で、家庭において減量化機器を新設、又は更新(従 対象人数(人)
		前の機器が5年以上経過した場合)使用とする者。
		間の機器が3年以上経過した場合が使用とする首。
		10,332
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)
	目	
		家庭から排出される生ごみの減量及び再資源化(堆肥化)の推進を図る。
	的	
		(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)
事		,
		生ごみ自家処理機器を設置しようとする者に対し、予算の範囲内でごみ減量化機器設置がある。
NI2		置補助金(購入金額の概ね2分の1でごみ減量容器の場合上限4,000円、生ごみ処理機の
業	実	場合上限30,000円)を交付することで、各家庭への導入を促進する。
	施	
概	内	
1996		
	容	
要		
		(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など)
		一般家庭ごみの年間排出量の約4割を占める生ごみの減量化は、焼却施設でのダイオ
		キシン排出の低減に繋がり、また、家庭での生ごみ処理により堆肥などの資源としても
	背	有効に利用されるなど、ごみ減量化の気運を盛り上げる施策の一環として効果が期待で
		きる。
	_	
	景	他市の状況
		洲本市:購入金額の1/2で上限15,000円
		淡路市:購入金額の1/2で上限20,000円
	重 3	上 業実施主体 □ □ R間·その他 (
		,
	ŧ	事業期間
合		(合併前においての事業実施団体と合併時における事務調整経緯)
合併	V	
VI		
協	IH 4	町ともに実施しており、旧南淡町の交付基準で調整。
議		
事		
務		
調		
整		
内		
容		

Ⅲ Do(事業活動・成果、投入資源・コスト)

山 Do(事業活動・成果、投入資源・コスト)									
		指標名	生ごみ処理機	ł	指標単位 件				
		指標説明 (指標算出 方法等)	生ごみ処理機設置件数						
事	業に対する		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
目	標の設定	目標値	40	40	40	40	40		
		実 績 値	26	30	17				
		達成度 (%)	65.0	75.0	42.5	-	-		
		目標値設定 の考え方	予算の範囲内						
			平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	直接事業	費 (千円)	832	992	490	1,200	1,200		
	補助金		832	992	490	1,200	1,200		
2/2									
資源	財	原 (千円)							
配		玉							
分		Ħ.							
		!債							
7		の他							
ンプ		才源[A]	832	992	490	1,200	1,200		
ノッ	人件費(正規職員)[B] (千円)		389	452	251	564	564		
 	平均人件費(1日当り)		29.9	30.1	27.9	28.2	28.2		
Ċ		に要した日数)	13	15	9	20	20		
		に要した人数)	1	1	1	1	1		
	年間経費([A]+[B])		1,221		741	1,764			
	「目的」対象人数1人	人当り経費 (円)	66.5	78.7	40.4	96.1	96.1		
	経費に関する 補足説明	事業量1は、	補助件数実績	1件当り0.	5日とした。				

Ⅳ Check (事業の自己評価・一次評価)

<u>IV</u>	Check(事業)										
		単位	平成18		平成1	9年度		_	平成21年度	平成2	22年度
	目標達成度	%		65.0		75.0	42.	5	-		-
	(事業目標の達成度を	分析、問	題点·課	題など	を記入。)					
\= <u>+</u>	周知不足のため、	目標数位	値に大き	きくかり	け離れて	こいる。					(自]
達											
成											点評
度											→ 価
											1
											ı
		明明上	. =田田百十>	じ去≐⊐)				-		
	【(住民満足度の分析、					ヾ せロヾ キ・	ホ キフ				白
	│ 生ごみ減量器はご	かり/減]	里化には	オーン	は风未ん	、别行(CE 8.				(1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
有											点評
効											→ 価
性											
											_
											3
		単位	平成18	3年度	平成1	9年度	平成20年	芰	平成21年度	平成2	22年度
	事業単価	円		66.5		78.7	40).4	96.1		96.1
	(効率性・コストの分析	T、問題.	点·課題	などを	記入。)						
	一般家庭ごみの年					Ξごみの	の減量化は、	ご	み焼却施設の	の維持	自己評
効	管理経費に直接影響	すると	考えられ								5 己
率性	理に係るコスト低減	につな	がる。								点評して
生											<u></u> ТЩ
											4
											_
	小土性の喜低		宣		ф		任				
	公共性の高低 公共性の高低 (公共性 市民 [□] – ズ		<mark>高</mark> #かどを	夕 析 「	中間時点	関節が	低 どを記入)				
	(公共性、市民ニーズ	、緊急性	生などを含	分析、「	問題点·		どを記入。)	/培	却施設での火	ダイオ	自
Va	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年	、緊急性間排出	生などを2 量の約4	分析、「 1 割を」	問題点・ 占める生	Ξごみの	どを記入。) D減量化は、				自己
必要	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に	、緊急性 間排出 繋がり、	生などを2 量の約 ⁴ 、また、	分析、「 1割を」 実際(問題点・ 占める生 の家庭で	こごみの ご生ごる	どを記入。) D減量化は、 みが処理され	เอ	ため、ごみ》	咸量化	点評
必要性	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年	、緊急性 間排出 繋がり、	生などを2 量の約 ⁴ 、また、	分析、「 1割を」 実際(問題点・ 占める生 の家庭で	こごみの ご生ごる	どを記入。) D減量化は、 みが処理され	เอ	ため、ごみ》	咸量化	自己評価
必要性	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる	、緊急性 間排出 繋がり、	生などを2 量の約 ⁴ 、また、	分析、「 1割を」 実際(問題点・ 占める生 の家庭で	こごみの ご生ごる	どを記入。) D減量化は、 みが処理され	เอ	ため、ごみ》	咸量化	点評
	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる	、緊急性 間排出 繋がり、	生などを2 量の約 ⁴ 、また、	分析、「 1割を」 実際(問題点・ 占める生 の家庭で	こごみの ご生ごる	どを記入。) D減量化は、 みが処理され	เอ	ため、ごみ》	咸量化	点評
	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる	、緊急性 間排出 繋がり、	生などを2 量の約 ⁴ 、また、	分析、「 1割を」 実際(問題点・ 占める生 の家庭で	こごみの ご生ごる	どを記入。) D減量化は、 みが処理され	เอ	ため、ごみ》	咸量化	点評
	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる 要である。	、緊急性間排出 繋がり、 施策の	性などを 量の約4 、また、 一環とし	分析、「 4割を」 実際の して効!	問題点・ 占める生 の家庭で	こごみの ご生ごる	どを記入。) D減量化は、 みが処理され	เอ	ため、ごみ》	咸量化	点評
	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる 要である。	、緊急性間排出繋がり、施策の	生などを 量の約 ² 、まとし 一環とし た現状分	分析、「 1割を 実際(して効!)	問題点・占める生の家庭で果が期待	こごみの ご生ごる	どを記入。) D減量化は、 みが処理され	เอ	ため、ごみ》	咸量化	点評
	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる 要である。 自己評価を ごみの減量化は市	、緊急性 間排出 繋がり、 施策の ままし	生などを含 量、の約2 大でである。 でである。 でである。 でである。 では、これである。 では、これである。 では、これである。 では、これである。 では、これである。 では、これである。 では、これである。 では、これである。 では、これである。 では、これでは、これである。 では、これでは、これでは、これである。 では、これでは、これでは、これである。 では、これでは、これでは、これでは、これである。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	分析、「 1割を 実で効! して効! 分析 D協力:	問題点・出版の登画を含めています。	ミごみのできる。 できてきる	どを記入。) D減量化は、 みが処理されること、生ご	เอ	ため、ごみ》	咸量化	点評
	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる 要である。 自己評価を ごみの減量化は市 であり、また容器包	、緊急性 間繋がり、 ふま人 ラ	生などを2 量、一切を まって まって でして はいった でして でして でして でして でして でして でして でして でして でして	分析、「 1割を」 1割際(1 分析 D協切り 7の収り	問題点・ おおまで おおまで おおまで おいまが おいまで かいまで かいまが まが まが まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが もの まが もの まが もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの	ミごみのできる。 できてきる	どを記入。) D減量化は、 みが処理され	เอ	ため、ごみ》	咸量化	点評
	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる 要である。 自己評価を ごみの減量化は市 であり、また容器包 めてますますごみの	、緊急性 間繋がり、 ふま人 ラ	生などを2 量、一切を まって まって でして はいった でして でして でして でして でして でして でして でして でして でして	分析、「 1割を」 1割際(1 分析 D協切り 7の収り	問題点・ おおまで おおまで おおまで おいまが おいまで かいまで かいまが まが まが まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが もの まが もの まが もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの	ミごみのできる。 できてきる	どを記入。) D減量化は、 みが処理されること、生ご	いる	ため、ごみ》 処理器の普Z	咸量化	点評
	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる 要である。 自己評価を ごみの減量化は市 であり、また容器包	、緊急性 間繋がり、 ふま人 ラ	生などを2 量、一切を まって まって でして はいった でして でして でして でして でして でして でして でして でして でして	分析、「 1割を」 1割際(1 分析 D協切り 7の収り	問題点・ おおまで おおまで おおまで おいまが おいまで かいまで かいまが まが まが まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが もの まが もの まが もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの	ミごみのできる。 できてきる	どを記入。) D減量化は、 みが処理されること、生ご	いる	ため、ごみ》	咸量化	点評
	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる 要である。 自己評価を ごみの減量化は市 であり、また容器包 めてますますごみの	、緊急性 間繋がり、 ふま人 ラ	生などを2 量、一切を まって まって でして はいった でして でして でして でして でして でして でして でして でして でして	分析、「 1割を」 1割際(1 分析 D協切り 7の収り	問題点・ おおまで おおまで おおまで おいまが おいまで かいまで かいまが まが まが まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが もの まが もの まが もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの	ミごみのできる。 できてきる	どを記入。) D減量化は、 みが処理されること、生ご	いる	ため、ごみ》 処理器の普Z	咸量化	点評
性	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる 要である。 自己評価を ごみの減量化は市 であり、また容器包 めてますますごみの	、緊急性 間繋がり、 ふま人 ラ	生などを2 量、一切を まって まって でして はいった でして でして でして でして でして でして でして でして でして でして	分析、「 1割を」 1割際(1 分析 D協切り 7の収り	問題点・ おおまで おおまで おおまで おいまが おいまで かいまで かいまが まが まが まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが もの まが もの まが もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの	ミごみのできる。 できてきる	どを記入。) D減量化は、 みが処理されること、生ご	いる	ため、ごみ》 処理器の普Z	咸量化	点評
性	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる 要である。 自己評価を ごみの減量化は市 であり、また容器包 めてますますごみの	、緊急性 間繋がり、 ふま人 ラ	生などを2 量、一切を まって まって でして はいった でして でして でして でして でして でして でして でして でして でして	分析、「 1割を」 1割際(1 分析 D協切り 7の収り	問題点・ おおまで おおまで おおまで おいまが おいまで かいまで かいまが まが まが まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが もの まが もの まが もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの	ミごみのできる。 できてきる	どを記入。) D減量化は、 みが処理されること、生ご	いる	ため、ごみ》 処理器の普Z	咸量化	点評
性	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる 要である。 自己評価を ごみの減量化は市 であり、また容器包 めてますますごみの	、緊急性 間繋がり、 ふま人 ラ	生などを2 量、一切を まって まって でして はいった でして でして でして でして でして でして でして でして でして でして	分析、「 1割を」 1割際(1 分析 D協切り 7の収り	問題点・ おおまで おおまで おおまで おいまが おいまで かいまで かいまが まが まが まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが もの まが もの まが もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの	ごせごきる	どを記入。) D減量化は、 Byがと、生ご	で	ため、ごみii 処理器の普 ii 処理器の音 ii くります。 を ii を ii を ii を ii を ii を ii を ii を i	咸量化 吸は必	4
性	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる 要である。 自己評価を ごみの減量化は市 であり、また容器包 めてますますごみの	、緊急性 間繋がり、 ふま人 ラ	生などを2 量、一切を まって まって でして はいった でして でして でして でして でして でして でして でして でして でして	分析、「 1割を」 1割際(1 分析 D協切り 7の収り	問題点・ おおまで おおまで おおまで おいまが おいまで かいまで かいまが まが まが まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが もの まが もの まが もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの	ごせごきる	どを記入。) D減量化は、 みが処理されること、生ご	で	ため、ごみ》 処理器の普Z	咸量化 吸は必	点評
	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる 要である。 自己評価を ごみの減量化は市 であり、また容器包 めてますますごみの	、緊急性 間繋がり、 ふま人 ラ	生などを2 量、一切を まって まって でして はいった でして でして でして でして でして でして でして でして でして でして	分析、「 1割を」 1割際(1 分析 D協切り 7の収り	問題点・ おおまで おおまで おおまで おいまが おいまで かいまで かいまが まが まが まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが もの まが もの まが もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの	ごせごきる	どを記入。) D減量化は、 Byがと、生ご	で	ため、ごみii 処理器の普 ii 処理器の音 ii くります。 を ii を ii を ii を ii を ii を ii を ii を i	咸量化 吸は必	4
性	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる 要である。 自己評価を ごみの減量化は市 であり、また容器包 めてますますごみの	、緊急性 間繋がり、 ふま人 まして に まえん	生などを2 量、一切を まって まって でして はいった でして でして でして でして でして でして でして でして でして でして	分析、「 1割を」 1割際(1 分析 D協切り 7の収り	問題点・ おおまで おおまで おおまで おいまが おいまで かいまで かいまが まが まが まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが もの まが もの まが もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの	ごせごきる	どを記入。) D減量化は、 Byがと、生ご	で	ため、ごみii 処理器の普 ii 処理器の音 ii くります。 を ii を ii を ii を ii を ii を ii を ii を i	咸量化 吸は必	<u>点評価</u> 4
性	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる 要である。 自己評価を ごみの減量化は市 であり、また容器包 めてますますごみの	、緊急性 間繋がり、 ふま人 まして に まえん	生などを2 量、一切を まって まって でして でして でして でして でして でして でして でして でして でし	分析、「 1割を」 1割際(1 分析 D協切り 7の収り	問題点・ おおまで おおまで おおまで おいまが おいまで かいまで かいまが まが まが まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが もの まが もの まが もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの	ごせごきる	どを記入。) D減量化は、 Byがと、生ご	で	ため、ごみii 処理器の普 ii 処理器の音 ii くります。 を ii を ii を ii を ii を ii を ii を ii を i	咸量化 吸は必	<u>点評価</u> 4
性	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる 要である。 自己評価を ごみの減量化は市 であり、また容器包 めてますますごみの	、緊急性 間繋がり、 ふま人 まして に まえん	生などを2 量、一切を まって まって でして でして でして でして でして でして でして でして でして でし	分析、「 1割を」 1割際(1 分析 D協切り 7の収り	問題点・ おおまで おおまで おおまで おいまが おいまで かいまで かいまが まが まが まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが もの まが もの まが もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの	ごせごきる	どを記入。) D減量化は、 Byがと、生ご	で	ため、ごみii 処理器の普加 を 5 - 4 - 3 - 2 - 1	咸量化 吸は必	<u>点評価</u> 4
性	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる 要である。 自己評価を ごみの減量化は市 であり、また容器包 めてますますごみの	、緊急性 間繋がり、 ふま人 まして に まえん	生などを2 量、一切を まって まって でして でして でして でして でして でして でして でして でして でし	分析、「 1割を」 1割際(1 分析 D協切り 7の収り	問題点・ おおまで おおまで おおまで おいまが おいまで かいまで かいまが まが まが まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが もの まが もの まが もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの	ごせごきる	どを記入。) D減量化は、 Byがと、生ご	で	ため、ごみii 処理器の普 ii 処理器の音 ii くります。 を ii を ii を ii を ii を ii を ii を ii を i	咸量化 吸は必	<u>点評価</u> 4
性	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる 要である。 自己評価を ごみの減量化は市 であり、また容器包 めてますますごみの	、緊急性 間繋がり、 ふま人 まして に まえん	生などを2 量、一切を まって まって でして でして でして でして でして でして でして でして でして でし	分析、「 1割を」 1割際(1 分析 D協切り 7の収り	問題点・ おおまで おおまで おおまで おいまが おいまで かいまで かいまが まが まが まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが もの まが もの まが もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの	ごせごきる	どを記入。) D減量化は、 Byがと、生ご	で	ため、ごみii 処理器の普加 を 5 - 4 - 3 - 2 - 1	咸量化 吸は必	<u>点評価</u> 4
性	(公共性、市民ニーズ 一般家庭ごみの年 キシン排出の低減に の気運を盛り上げる 要である。 自己評価を ごみの減量化は市 であり、また容器包 めてますますごみの	、緊急性 間繋がり、 ふま人 まして に まえん	生などを2 量、一切を まって まって でして でして でして でして でして でして でして でして でして でし	分析、「 1割を」 1割際(1 分析 D協切り 7の収り	問題点・ おおまで おおまで おおまで おいまが おいまで かいまで かいまが まが まが まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが まで もの まが もの まが もの まが もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの	ごせごきる	どを記入。) D減量化は、 Byがと、生ご	で	ため、ごみii 処理器の普加 を 5 - 4 - 3 - 2 - 1	咸量化 吸は必	点評価 4

V Action & Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
	☑ 現状維持 ☐ 休止·廃止 ☐ 事業統廃合	☑ 現状維持 □ 休止·廃止 □ 事業統廃合
今	□ 予算充実 □ 予算削減 □ 手法見直し	□ 予算充実 □ 予算削減 □ 手法見直し
今後の方向性とその理	ごみの減量化対策に必要であり、さらに周知 を図り普及に努める。	同左。
の		
自向		
性		
と		
Ó		
理中		
由		
現		
具状		
体維		
的持な以		
改外		
善の		
方場法合		
	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
改善		
世現に出		
よ雑		
っ持て		
改善によって期待される効果(現状維持以外の場合)	コスト面	コスト面
待の		
れ場		
a C		
果		
	仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラ	
現	機器購入の個人負担が大きくなり、減量化機能	
中状止維		
・持		
統の		
廃場 合合		
のも		
影記		
響入		
)		